

学 園 通 信



No. 275

九里学園高等学校 P T A

2018.7.25 発行



● 特 集

国際交流 & グローバル教育

九里SGH3年目の取り組み

SGHの取り組みについて

九里学園のスーパーグローバル ハイスクールプログラム

グローバル・ラーニング

九里学園のスーパーグローバルハイスクールプログラムの大きな柱はグローバル・ラーニングです。これは貧困・格差（児童労働）、食糧問題、難民・移民問題、環境問題などの社会的課題について、大学やNPOなどと連携して課題解決型学習を行っていくものです。具体的には日本の子どもの貧困について、子ども食堂などを訪問し、支援方法を考察したり、海外の成功した政策から貧困対策について日本での政策を考え、提案したり、児童労働をなくすためのフェアトレード商品推奨活動を行ったりしています。現3年生はこのグローバルをもとに、グループでの課題研究に取り組み、それぞれ、「子ども食堂」「ハワイから学ぶ水問題」「郷土食の有効性」などをテーマに仙台で行われた東北SGH課題研究フォーラムで発表しました。

模擬国連

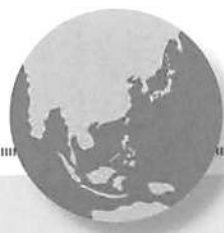
このグローバル・ラーニングの一環として毎年行っている模擬国連は最大の取り組みと言えます。一昨年は食料問題について「2030年の食料をどう担保するか」というテーマで行いました。昨年度はシリア難民を議題として、生徒たちが世界各国の大使となって、徹底的に自国の政策や状況を調べ、国益を考えつつ、難民問題の解決という国際益を考える難題に取り組みました。実際の国連のようにフォーマルスピーチやアンモデレートコーカス（非公式討議）を経て、情報を収集し、分析し、さらには交渉を行って最終決議案としてまとめ、可決まで持ち込むという活動は多くの力を総合的に発揮してやっと成立するものです。SGH運営指導委員である尚絅大学の森田教授からは「カオスを恐れない前向きさと使命感があり、九里学園が目指す地球市民となっていた。現代社会では、自分軸を持って自分の意見を言える若者を育てることは大切なことであるが、今日の生徒たちはそれが出来る生徒であった。」との講評をいただきました。また、同じく運営指導委員の米沢栄養大学の鈴木教授からも「グローバルで問題となったものを越えていくというのがSGHの在り方ではないか。その意味で、生徒たちの視点は世界を向いており、様々な視点から煩雑で多岐にわたる問題をクリアしていこうと真摯に取り組んでいる姿は素晴らしい。そして、このような社会で他国に思いを馳せ、他国民の立場でも物事を考えられる経験は多様性の尊重という視点で非常に重要である。」と評価していただきました。この活動は県内外の学校からも高く評価され、注目を集めています。



提案をするドイツ大使



いたるところで行われる情報収集、交渉



地球塾

私たちがGCPと呼んでいるグローバル・シチズンシップ・プログラムにおける、グローバル・キャンプ「九里地球塾」も大きな目玉の一つです。山形大学の留学生と協働学習を行うことで、国際人に必要な“多様性の受容と尊重”という国際感覚を養い、“社会をイノベーションする”思考力、創造力を身につけ、“世界の誰とも協働できる”英語力、コミュニケーション能力、表現力を身につけることを目的としたキャンプです。今年度は5カ国9名の留学生が参加し、本校生とSDGsをテーマに学習を行いました。SDGsの達成のためのアクションを英語によるディスカッションして考えました。この地球塾は多くの先輩たちに大きな影響を与え、その後の生き方が変わっていきました。このプログラムもやはり他校から注目され、昨年度は新庄東高校からも参加希望があり、JICAからも視察がありました。今年度も同様にいくつかの高校から参加希望があり、お断りをしなければならない状態でした。



地球市民とは？のワークショップ



SDGsについて考える



アクションプランの発表

成果

SGHの成果を一言で表現すると、行動変容があげられます。この活動の学びによって、生徒たちの価値観が変わり、当然それに伴って行動が変わります。もっと大げさに言うと生き方が変わりました。進路に向けての動きも当然変化し、進路選択に目的意識と使命感が伴うようになりました。生徒が飛躍的に成長していることは言を俟ちません。

さらに、恐縮ですが、担当している私たち教員もこのプログラムにより大きく成長しています。ゼロからプログラムを創りだしていく作業は大変な困難を伴います。しかし、それに向かって果敢にチャレンジすることで一つ一つを可能にし、多くの学びがありました。

最後に、この大きなプロジェクトを可能にしているのは実は生徒たち自身なのだということを伝えたいと思います。私たちがいかに素晴らしい取り組みをしようとしても、チャレンジしようとしても、生徒たちが本気になって取り組んでくれなければ、全てが台無しになってしまいます。生徒の一生懸命に触れ、その生徒の本気を支えたいという私たち教師の本質がプログラムを動かし、このプロジェクトが回っているのだと感じています。

これからの九里のSGH活動をどうぞよろしくお願い致します。

活躍に期待

PTA会長 加藤 淳一



最近のニュースを見ていると心が苦しくなるような悲しいニュースが多く、相手の心や

体に傷をつけるような出来事が多いように感じます。当然、被害者にならないように注意することが大事ですが、加害者にならない注意も必要です。気づかない間に相手を傷つけることの無いように、高校生活では良き仲間を作り、卒業してからも助け合い、相手のことを考えられる大人になってほしいと思います。高校生活三年間というのはあつという間に過ぎてしまいます。だからこそ、高校生の時にしかできない貴重な経験を積んで欲しいと思います。夢を持ち目標を立て努力することは大人になっても大事なことです。夢を達成するために積極的に行動し、苦しいことから逃げ出さず何回もチャレンジして欲しいと思います。そして、感謝の気持ちをわすれないということも大事なことです。家族、恩師、仲間、先輩、後輩など生きていく上で多くの方々に助けられ成長して行きま。そんな全ての方々に感謝する気持ちを忘れなければ、最近のニュースのようなことは少なくなるのではないかと感じます。皆さんの活躍で喜ばしいニュースが多くなることを期待します。

保護者の皆様には九里学園の事業にご協力いただきありがとうございます。生徒たちと関われる貴重な三年間ですので、多くの事業に積極的に参加していただければと思います。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

時間を大切に使う

三年生部長 川又 康幸



人生は何事もな。さぬにはあまりに。長いが何事かをな。すにはあまりに。

短いという言葉があります。それは、なんの目的もなく漠然と過ごすのであれば人生は長いものだが志を遂げようとするにはあまりにも短いということです。皆さんは将来やりたい仕事や成し遂げたい目的に向かって勉学に努めていると思います。が何事においてもプロレベルの腕前になるには約一万時間かかるといわれています。人生において大きな夢をもっているのなら、それに向かって突き進むべきだと思います。先の言葉にあるように志を遂げようとするには本。当に人生は短いものです。

大切なのは、「限りある自分の貴重な時間を使う」ということにし。かり意識を持つことだと思います。是非これからの人生何をやり遂げ、どんな夢を叶えるか時間を大切に使うて欲しいと思います。

九里学園生徒の皆さんへ

二学年部長 中村 浩



平成30年度に入。り、三ヶ月が経過。しました。新入生が加。わり、新二年生、三年。生として充実した学園生活を送っている。事と思っています。

一年生の皆さんは、様々な事にやっ。と慣れ、これからの自分の持つ本来の力を。勉強や部活動で開花させていく時期で。す。しっかりとした目的や目標を定め、。上級生の背中を追いかけたいと思います。

二年生の皆さんは、先輩から部活動。を引き継ぎ、中心として活躍することにな。ります。また、勉強においてもこの一年。の頑張りが今後の進路・進学に重要な意。味を持つてきます。中間学年ではありま。すが、まだ一年あると高をくぐる事無く、。何事にも全力で真摯に取り組んでいきま。しょう。

三年生の皆さんは、いよいよ総仕上げ。の時期となります。これからは就活や進。学に向け大事な時期を迎えますが、これ。までの自分を信じ正々堂々と立ち向か。つて下さい。少し自信がない方は、これか。ら目一杯頑張つて自分を磨き上げていき。ましょう。努力は必ず報われます。また、。残り少なくなった学園生活を一日一日、。大事に悔いを残さないよう生活して下さ。い。共に悩み笑い学んだ仲間は、一生の。友となるはずですよ。

それぞれの学年に向けて、エールを送。りました。が、全学年と先生、そして保。護者の皆様が揃って「We are Family!」の九里学園です。一年間、。みんなで頑張つていきましょう。

スタートライン

一学年部長 小西 信夫



この度、一学。年。部長を仰せつかり。ました小西と申し。ます。一年間よ。

ろしくお願い致します。高校生活。がスタートして早や三ヶ月を過ぎ。ようとしています。不安や期待を。胸に九里学園の門をくぐった事。で。しょう。

そんな皆さんはこれから色々な。スタートラインに立つ事でしょう。スタートラインその数は無限。です。そして長い人生では何度も。スタートラインに立つという場。面。があります。

そんな皆さんを応援して下さる。強い味方がいます。お父さん、お。母さん、先生方です。悩んだり挫。けそうな時に頼つて下さい。必ず。最高のスタートが切れるはず。です。

どんな目標に向かう時でも準備。が必要。です。これからの学園生活。で自分自身の目標を見つけ準備。し。スタートラインに立つて下さい。

九里学園保護者の方々、先生方。は皆さんの強い応援団です。私。たち保護者も皆さんと一緒に学。んで。いき、皆さんと一緒にスタート。ラ。インに立ちます。

KUNORI 地球塾



山形大学に在籍している多様な国からの留学生との協働体験プログラムを通して、グローバル人材としての素養を育むGlobal Campoです。参加者全員で協力しながら、様々なアクティビティやワークショップを通して、世界を感じ、考え、学んでいきます。

KUNORI 地球塾とは

グローバルキャンプ

三年七組 佐藤 友治

今回自分は初めて地球塾に参加しました。分からないことが多く、不安も少しありました。地球塾が終わる頃にはとても貴重な体験をさせて頂いたと感じていました。ワークショップを通じていく中で、自分達とは違った物事の考え方や、気付くことのできなかつた日本の課題、グローバルな課題、沢山の新しい発見がありました。普段はなかなか考えることのない物事に目を向けるきっかけになったと思います。留学生の方と交流をしていく中で、英語で上手くコミュニケーションを取ることで、積極的なコミュニケーションを取っていくことの方が大切だということも学ぶことができました。



地球塾を通して学んだこと

二年五組 赤木 美月

私は七月十四・十五日に行われた地球塾に参加してきました。様々な国からの留学生との交流を通して、グローバルな人材としての素養を育むという目的のもと、様々なアクティビティに取り組みました。

その中で、私は「SDGs」のアクティビティが特に印象に残っています。SDGsとはSustainable

Development Goals「持続可能な開発目標」という意味です。私たちの身近な問題と社会的課題は、SDGsとどう関連しているのか。そしてなにをどうすればその目標は達成されるのか。学年や言語の壁を越え、グループ内で積極的に自分の意見を伝え合って共有し合い、それをまとめてポスターセッションを行いました。

今回初めて地球塾に参加して、他の文化や言語など、様々なことを学びました。また、色々なアクティビティを通して留学生と仲を深めることもできました。

二日間楽しいこともありましたが、辛かったこともありましたが、自分の意見が上手く相手に伝わらない、相手の話している言葉を理解するのに時間がかかってしまったことです。

私は来年も地球塾に参加するつもりです。その時に自分の意見を相手に伝えるられるぐらいの英語のスキルをこれから身に付けていきたいです。



被災地の研修を終えて

一年一組 岩上 栄哉

今回一泊二日で、宮城県石巻市内にボランティア活動で行って来ました。震災が起きてから、七年も経ち、キレイになっているだろうと思っていたが、実際は見ると店や家が生活ができる程度の状態でした。当時、災害にあわれた方が実際に被害があった建物などを周って細かく説明してくれました。

宿泊した。ホテル華夕美。はものすごく居心地が良く、友達とも楽しく過ごし、ぐっすり眠れました。

今後、自分がどう行動していくのか色々考えました。今回、被災地に行つていっただんなときでも準備は必要だと改めて感じました。

研修に行つて分かった事は、悲しむのも大事だが、気づき、学び、出会い、繋がる。これは大事なことだと考えられました。かなり重い内容の研修でしたが、良い体験になりました。

被災地ボランティアを終えて

一年一組 須賀 龍稀

七年前にあった、東日本大震災で被災にあわれた、宮城県石巻市にボランティアとして行って来ました。

震災から七年経つても、今だに見つからない人がたくさんいたり津波によって建物が流されて更地になつていたりなど、震災が起きてから大きく変わっていないところもあることを改めて知りました。

ボランティア活動の中でカキの養殖の手伝いをさせていただいた石森さんとホテル観洋で、命を大切にすること、恩を忘れないことなど、被災にあわれた方から聞くことができました。

学年行事を通して

一年二組 原 洸翔

二日間、ボランティアに石巻に行つてきて、カキの殻に紐を通す作業をしました。人の役に立つことが好きなので、「あきず」に作業を進めることができました。自分は津波の事を詳しく知りませんでした。今までは、人事のようにしていました。話を聞いたら自分たちも受け止めなければならないと思いました。



津波の怖さ

一年二組 宮島 天海

二日間、学年行事で宮城県石巻市に行つてきました。そこで地元の人から話を聞いて津波の高さ、被害がどれだけ酷い状況か、わかりました。そのあと一緒に穴が開いた貝にひもを通す作業をしました。二日目は、津波の被害にあった建物を見に行きました。そこでは、津波の破壊力と自然の恐ろしさを改めて実感しました。



学年行事の感想

一年三組 石山 結衣

学年行事を通し、実際に自分の目で被災地を見て、今の自分達にできる事は少なくないと思います。少しでも被災地の方々の支えになれたらと思います。そして一番考えさせられた事は、今、普通に生活ができ、大切な人が側にいる事は当たり前のことではなく、感謝しなければならぬ事なのだと思ふことができました。



被災地を訪れて

一年三組 鈴木 空夏

私がこの学年行事で特に印象に残っているのは東日本大震災後の、南三陸町の街を見学したことです。

被災した方の話を聞くことで、当時の状況や本当の辛さを知りながら、生活の場を失われながらも、必死に生きようとしている姿がありました。津波の命を奪った。地震と津波の怖さをこれから私達も伝えていきたいと思っています。



ボランティア 1 学年 ～ 平成30年6月7～8日

今後、自分に何が出来るとかを考えられる研修になりました。



二日間の貴重な経験

一年四組 片倉 里菜

7
七年前の震災で実際に被害にあった宮城県へ行ってきた。津波に荒らされた町は当時と変わらぬ風景のままで、改めて震災の恐怖を感じた。しかし、現地の方の話を聞いていると、前向きな意志が伝わり、復興に向けて意欲的な姿を見せてくれ、自分自身も受け身だった意識が積極的になるうという精神を持つことができた。

学年行事を通して

一年四組 後藤 すず



二日間、貴重な体験ができてよかったです。一日目は被災地ボランティアへ、二日目は被災された方々のお話を聞きました。まだまだ辛いことがたくさんあるのに、私たちに笑顔で接してくれ前向きに頑張っていて、逆に私たちが元気をもらいました。自分の命の重さ、大切さを改めて考えさせられることができ収穫の多い行事となりました。

宮城・被災地ボランティア

被災地の方々の思い

五組 小林 遼緒



私は被災地ボランティアを通して被災された方々の思いを知ることができました。二日間、ホタテの震災についての話をお聞きして被災地の方々は生きるために必死に頑張っているんだと思いました。今後の生活で当たり前の生活が送れることに感謝し、犠牲になった人の分も必死に生きたいです。

実際に見て

五組 堀越 貴璃



学年行事で石巻市に行きました。そこでのボランティアや語り部さんの話を聞いてたくさんのお話を学びました。僕は初めて実際に被害にあった建物を見ました。その建物は震災が起きてから修理もせずに残してきたという建物でした。その建物を見るときは一瞬言葉を失いました。テレビで見るとは全く違うような雰囲気です。少し苦しくなりました。実際に津波が来た所にテープが貼ってありました。速くから見るとあまり高いとは思わなかったのですが、近づいてみると思わなければならぬ高さで、驚きました。震災の日、その建物には人が集まっていたそうです。しかし、幸いな事に全員が助かったそうです。それは、その建物の従業員の中に一度津波を経験した人がいて、その従業員の指示に従った全員が助かったと言っていました。経験したら全員が助かったと思いましたが、また、今回教えていただいたことを他の人にも伝えたいと思います。



登山してみても

二年一組 赤間 琢也

先日学年行事がありました。二年学年は登山をしました。登る前からつらいと聞いていたので正直登りたくありませんでした。いよいよ登山当日になり、実際に登ってみると、確かにつらかったのですが、登り切り頂上からの景色を見た時、とてもきれいだと感じました。先生が頂上に登った時の達成感、そこから見る景色があるから登ると言っていました。確かにその通りだと感じました。また登山する機会があったら是非登りたいと思います。



初登山

二年二組 後藤 翼



僕は、今回の学年行事で初めて登山を経験しました。登りの時は歩き始めて直ぐに、ふくら脛が辛くなり、想像していたよりも、ずっと登るのに苦労しました。しかし、山頂や下山に見た景色は登りの時には見なかった景色を見る事が出来て、とても楽しかったです。また機会があれば、また登山したいと思いました。

吾妻山に登って

二年三組 青木 慎

我々二年生の男子は、福島県と山形県にまたがる吾妻山を一日泊二日で登ってきました。吾妻山の別名は吾妻連峰と言い、最高峰は二〇三五メートルあり、日本百名山やうつくしま百名山に選ばれています。

この登山を通じて感じたことは、友人の大切さです。登山の途中、歩くのが嫌になってやめようかと思ったとき、友人からの「一緒に頑張ろう」の一言で頂上まで登り切ることが出来たのは、大きな経験だったと思います。



~8 2年男子 吾妻山



新たな体験を通して

二年四組 半田 麻帆

一泊二日の学年行事を通して新たな体験をすることができたと感じます。また、仲間との協力やふだんコミュニケーションを取らないクラスメイトとも話す良い機会になりました。

男子は、吾妻連峰。女子は猫魔ヶ岳に登り、男女とも良い景色を見ることができました。登山中も、日常では中々見ることでできない鳥や虫、植物がたくさん見れましたが、バスでの移動の最中にも、虫の多さや木の青々しさなど自然の美しさを感じることもできました。

そして、夜のキャンプファイヤーはクラスの発表や、火を囲み



ながら躍り、楽しい時間を過ごせました。最後にしおりに書いてあった主任の「緊張感」「達成感」を楽しんでほしいと言うことは達成できたと思います。今回の学年行事は、私たち二年生に大きな影響を与えたと思います。



登山の思い出

二年五組 佐藤 愛美

私は今年の学年行事で、人生初の登山を体験してきました。登山をする時に、私がいいたいと思った事を二つあげたいと思います。

まず一つ目は、みんなで声をかけ合って支え合えた事です。例えば、急なところや段差があると手を貸し合って支えたり、困ったり具合が悪そうなら、「大丈夫？あと少しだから一緒に頑張ろー！」などと声をかけてくれる人がいて、とても心が温まり、優しい人だなあと感じました。

二つ目は、あいさつです。私達以外にも、登山をしていた方がいたのですが、みんな疲れているはずなのに、元気にあいさつをしている姿を見て、「私も頑張ろう！」と思いました。

私は、登山を通して、人の強さや、逞しさを、優しさに触れる事ができて、とても意味のある行事だったと思います。また機会があれば支えられるように頑張ります！

2学年プロダレスコース
仙台研修

6/7~8

仙台研修

二年六組 藤川 和輝

私たちは一泊二日で仙台まで大学見学へ行った。一日目の午前中は東北大学、午後は東北学院大学を訪れた。まず、東北大学の教授の話は大変興味深く、モノの見方が大きく変わった。今まで聞いた講演の中で、もっとも興味深い講演の一つであると感じた。東北学院大学では生徒全員でグループワークを行い、その後整った教育環境を見て回った。二日目は東北薬科大学へ赴き、簡易的な点滴を作成したりした。この二日間大変有意義な時間となった。



楽しかった初学年行事

三年一組 千葉 諒

僕は、部活の都合で三年になって初めて学年行事に参加しました。三年生は、一泊二日で庄内へ旅行に行きました。水族館や海で遊んだり、即身仏を見たり、羽黒山に登ったりと、庄内へ歴史や観光に触れる二日間でした。また、酒田公益文化大学に行き勉強をしたりと、二日間でたくさん楽しい思い出ができて有意義な旅行ができて良かったです。これからは、切り替えて全員が進路実現に向けて勉強を頑張りたいです。



庄内旅行を通して

三年二組 佐藤 怜哉

第三学年の学年行事は庄内旅行です。昨年から楽しみにしていたので僕の中ではビックイイベントでした。一番記憶に残っているのが、羽黒山です。階段の数が多いとは知っていましたが、いざ登り始めてみると、急になっている所があったり、暑さで体力が奪われたりと、とても大変でした。しかし、友人と「きついな」など言ったり、励ましあって登るのは最高に楽しかったです。いろいろな思い出が作れた、楽しい庄内旅行でした。この活動を通して、クラスの団結力が深まったと感じます。それを今後の活動にかしたいと思います。

庄内旅行での思い出

三年三組 萩原 大輔

私達、三年生は庄内旅行に行ってきました。クラスごと、スケジュールにそっての研修でした。舟下りは初めての経験でした。天気にも恵まれ風も涼しく気持ちよかったです。景色も大変きれいでした。羽黒山では、階段を登って上まで行きました。皆と登っていい汗をかけたし、登りきった時の達成感があり、良い思い出になりました。

この学年行事を通して、クラスの絆やまとまりが深まったと思うので、これからの学校生活や進路に生かしていきたいと思いました。



開 豊



くらげドリーム

開 豊



絵ろうそく

開 豊



うまいの~

開 豊

山形県を感じる

三年四組 小笠原琴葉

三学年は庄内旅行という事で、庄内の良いところや米沢と違うところをたくさん見つけたい。特に行事だったと思います。特に印象に残っているところは海向寺の即身仏を見たことです。山形県は全国で最も即身仏が多いと言われています。その中でも二体並んで奉られている即身仏を直に見ることができたのはとても貴重な体験だったと思います。県外の人達にも、こういう山形の魅力を伝えていきたいです。



三年五組の旅

三年五組 山口 朱音



初日最上舟下りから酒田海鮮市場で名物の海鮮丼を味わいました。二日目、海向寺で即身仏を見学し、加茂水族館へ行った後庄内名物表切りを食べました。羽黒神社では進路の合格祈願をしました。特に心に残った思い出は、みんなで海や見学地で写真を撮ったり、宿舎で過ごした時間です。友情もクラスの団結も深まり、これからみんなで目標達成に向かって頑張っていくと決意する旅になりました。

もっしえ庄内!

三年六組 石川 麗美

六月七日から二泊三日で庄内旅行に出発しました。バスに乗り、バスガイドさんに色を説明してもらいながら、楽しく巡ることができました。その中で私が乗った場所は、三つあります。一つ目は、最上川舟下りです。天気が良く景色がとても綺麗で縁結びの神社もあり、学校で話してない人ともみんな話せて、たのしかったです。二つ目は海です。内陸側の学校なのでめったに行かない海にみんな楽しく入っていて、笑顔が絶えない場所でした。三つ目は、ホテルの部屋です。六人の部屋で、夜まで一緒にいると、話が盛り上がり、楽しい部屋でした。この一泊三日の学年行事を楽しく、ケガもなく終われ、さらにクラスの仲が深まったと思います。この仲の良さを九里スポーツフェスティバルなどに生かしていきたいです。



庄内旅行を終えて

三年七組 戸田 智士



今回の庄内旅行で最も印象に残っているのは、海向寺での即身仏の拝観です。即身仏とは何なのかすら知らなかったのですが、今まで知らなかった日本の歴史に触れ、知見を広めることができました。また、羽黒神社や湯殿山神社では「神社」の魅力を感じ、他の神社にも行ってみたいと思います。庄内は小学校二、三年の時に住んでいた地域でしたが、意外と知らないことが多く、とても実りの多い行事でした。



すごいぞ!! 九里 インターハイ出場



ユースフル・スクール 講座紹介

自ら体験してみたい講座を選んでみよう!

1年間のなかで、興味のある講座はいくつあるかな。

いつもとは違う先生、自分で選んだ体験講座・・・きっと新しい発見があるはず!

手話を学んでみよう!

手話って聞いたことはあるけど
学ぶ機会がなかったみなさんへ
コミュニケーション=言葉だけでは
ない!

講 師: 石山吉雄先生
場 所: 九里学園共用7
開講日: 1回目 5/19(土)
時 間: 10:20~12:30



ただけ! 米沢の太鼓

基本から先生に教えてもらおう!
ただけはたたくほど、これまでに
はない感覚がわいてくる!!

講 師: 佐藤仁先生 ※沢尻道一孝
場 所: 大志ぶくの佐藤先生の教室で開講
開講日: 1回目 5/19(土)
時 間: 10:20~12:10



マシュマロ フォンダント講座

マシュマロを使ってカップケーキに
可愛くデコレーションしましょう!

講 師: 中村あゆみ先生
材料費: 500円

※6月開講予定



調理体験! 食育講座

卒業したら実家を離れる予定! 自炊
したい! 1人暮らしに役立つメニュ
ーや友達と季節のイベントに合わせ
楽しくクッキング!

講 師: 加藤涼菜子先生 (NPO 食育ママ)
材料費: 1回 500円
場 所: 九里学園調理室
※申込みは全回参加と可能な日だけ参加の2種類
から選ぶことができます。
開講日: 5/19・6/16・7/21・9/22
時 間: 10:20~12:30(予定)



宇宙散歩講座

美しい星空や大宇宙を 100 倍以上上
昇り方をお話を教えます。散歩するよう
な気持ちで参加してみよう!

講 師: 高橋元樹先生
材料費: 望遠鏡購入の場合 3000円
場 所: 九里学園グラウンド 天井・中野川スキー場
開講日: 5/19・7/7・9/15・9/28・10/6
時 間: 18:00~20:00/21:00
※日によって時間場所が変わります。



救急員養成講座 (日本赤十字)

心肺蘇生法やけがの手当て、止血法な
どの一次救命処置を学びます。3日間の
講座(実技含)を受講し、検定試験
に合格すると救急員の認定証がもら
えます。

講 師: 高橋左和明先生
吉田貴美子先生

※12月下旬開講予定



次回276号

○クノリ スポーツフェスティバル

○地区新人戦 ○九里祭 ○研修旅行

スクールカレンダー

7/26~8/22 夏季休暇
9/ 8・9 地区高校新人大会
10/19・20 九里祭
11/12~17 2学年研修旅行

編集後記

新体制になって最初の学園通信はい
かがでしょうか。新学期から各学年さ
まざまなイベントがあり、写真選びに
も熱が入りました。皆さんの思い出の
一つとなってくれればと思います。
今後とも盛りだくさんのイベントを紙
面でお伝えしていきますので、私たち
の写真選びを悩ますような皆さんの活
躍を期待しています。

(平成三十年度広報委員長 後藤 順)